

第6回新宿区協働支援会議 次第

令和3年6月28日(月)午後2時20分
新宿区役所本庁舎6階 第2委員会室
(オンライン会議)

1 開 会

2 議 事

一般事業助成公開プレゼンテーションの実施

3 閉 会

4 次回開催について

第9回協働支援会議

令和3年8月31日(火) 午前10時～ 本庁舎6階 第2委員会室

議題：民間提案制度について

※第7回、8回、協働事業助成中間点検視察は中止

5 配付資料

[資料1] 一般事業助成公開プレゼンテーション 当日の流れ

[資料2] 一般事業助成評価表(二次評価・公開プレゼンテーション)

[資料3] 一般事業助成・プレゼンテーション質問票

[資料4] 各団体プレゼンテーション資料

[資料5] 一般事業助成公開プレゼンテーションについて

一般事業助成公開プレゼンテーション 当日の流れ

プログラム		委員	
説明		<p>★事務局のPCについて プレゼン当日は以下の役割分担で事務局は2台のPCを使用します。 事務局1：司会進行及び時間表示 事務局2：団体紹介ボードの表示 レコーディング等、Zoomの操作</p> <p>★録画について プレゼン動画の公開は、プレゼンから質疑応答までとし、録画面はプレゼン団体のみが映るよう設定する予定です。 このため、委員のみなさまは音声のみの出演となりますので、必ずご発言の前にお名前をお願いいたします。</p> <p>14:15までにはログインをお願いします。</p>	
	14:15	ZOOMログイン・着席	
プレゼン	14:20	<p>事務局1が全体の進行と時間表示、座長が質疑の進行をするので、各委員は、この2つの画面と団体の画面をピン付け等して分かりやすく表示しておいてください。</p>	
	14:30		当日の流れについて説明
	14:33	開会	
	14:40	座長あいさつ・委員紹介	名簿順に自己紹介
	14:45	プレゼン説明	<p>★プレゼン時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクはミュートにしてください。 ・座長は事務局1のビューを注視してください。
	14:55	GHHプレゼン（自宅）	
	15:05	GHH質疑応答（自宅）	<p>★質疑応答時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言後はマイクをミュートにしてください。 ・座長は時間を気にかけて質問者を指名してください。 ・委員も時間を気にかけて質問してください。（質問は簡潔をお願いします）
	15:10	インターバル①	
	15:20	高卒支援会プレゼン（区）	<p>★インターバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクは必ずミュートにしてください。 ・評価表の記入等をして待機してください。 ・座長は、事務局のキューを待ってプレゼンを開始してください。
	15:30	高卒支援会質疑応答（区）	
	15:35	インターバル②	<p>★インターバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクは必ずミュートにしてください。 ・評価表の記入等をして待機してください。 ・座長は、事務局のキューを待ってプレゼンを開始してください。
	15:45	CWSプレゼン（自宅・事務所）	
15:55	CWS支援会質疑応答（自宅・事務所）	<p>★インターバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクは必ずミュートにしてください。 ・評価表の記入等をして待機してください。 ・座長は、事務局のキューを待ってプレゼンを開始してください。 	
16:00	閉会		閉会

令和3年度一般事業助成評価表(二次評価・公開プレゼンテーション)

委員名		評価					
		評価の目安	A	B	C	D	E
			大いに認められる	認められる	どちらかといえば認められる	どちらかといえば認められない	認められない
			1	2	3	合計	
			Global Healthcare Hub (グローバルヘルスケアハブ)	CWS Japan (シーダブリューエスジャパン)	高卒支援会		
評価項目	(1) 区民ニーズを的確に把握し、地域課題や社会的課題を捉えた事業となっているか	(10点)				0	
	(2) 課題解決の手法が適切で、効果が期待できるものとなっているか	(10点)				0	
	(3) 区民の社会貢献活動への理解を深め、参加の契機となり得る事業となっているか	(5点)				0	
	(4) 事業計画及びスケジュールが実現可能で、妥当なものとなっているか	(10点)				0	
	(5) 実行体制(人員体制や安全対策)は適切であるか	(5点)				0	
	(6) 事業の継続性や発展性が期待できるか	(5点)				0	
	(7) 団体の先駆性や専門性を活かした事業となっているか	(5点)				0	
	(8) 申請した企画内容と照らして、資金計画や経費見積りが適切であるか	(5点)				0	
	(9) 運営の公開性及び透明性に優れているか	(5点)				0	
	(10) 団体の運営にかかる経費について、自ら資金確保に努め、経営状況は健全であるか	(10点)				0	
実績評価※	(11) 過去に本助成を受けた事業を申請する場合、実施状況が適切であるか、その効果が発揮された事業であるか	(-5点)				0	
合計	70点満点		0	0	0	0	

※過去に助成を受けた事業のみ評価

※各委員の評価を下記のとおり事務局で点数変換し、合計点を集計します。
 * 10点満点の場合(評価A:10点、B:8点、C:6点、D:2点、E:0点)
 * 5点満点の場合(評価A:5点、B:4点、C:3点、D:1点、E:0点)
 * (11)の採点は(評価A:0点、B:-1点、C:-3点、D:-4点、E:-5点)

令和3年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票

プレゼン順	1		
申請番号	1		
団体名		Global Healthcare Hub (グローバルヘルスケアハブ)	
No.	質問者	区分	質問事項
1	関口	手法・事業効果	活動内容のうち、「介護人材交流会」について、具体的にどのようなことを実施する企画か教えてください。また、オンライン開催の場合でも成立する内容になっていますか。(p.6-7)
2	松井	手法・事業効果	<介護の日本語教室について>ワセダバンドスケールを使用しての日本語能力測定並びに指導がオンラインで実現可能かどうかを具体的に教えてください。(測定や指導は個別対応が必要と思われるため)(p.6、事前質問回答)
	伊藤	手法・事業効果	介護現場における、就労時の外国人労働者の“日本語コミュニケーション能力”は大きな課題となっているのが現状で、「日本語の勉強」、「介護の勉強」をより有効に行う必要性は理解できます。しかし参加者には日本語及び介護理解のレベル差があると思います。クラス分けの判断基準、及び提供する講座内容は如何に考えておられますか。(p.6)
	伊藤	手法・事業効果	講座開催は月3回オンライン講座を中心に行っていく計画ですが、オンライン講座参加者の講座への参画度合いにバラツキが生じ、成果を十分に上げられるのか不安があります。(p.6)
	大野	計画・スケジュール	6頁⑤活動内容で、日本語教室においてレベル差がある場合は、クラス分けするとあるが、実施回数21回が減少してしまうのではないのでしょうか。(21回→7回)(p.6)
3	松井	手法・事業効果	<イベント参加者の展望について>中国以外の外国人介護人材参加を募り、増やすための具体的な施策がおありでしたら、教えてください。(p.8-9)
4	竹井	手法・事業効果	講師ボランティアの方は、どの国の言語で介護の講義を実施するのでしょうか。(p.6-7)
	山田	手法・事業効果	チラシ、パンフレットといった周知、また日本語教室、交流会の申込みについては、何語に対応される予定ですか。(p.6-7)
5	則竹	手法・事業効果	受講者を固定せず、単発で事業を実施されるとのことですが、事業の効果測定はどのように行うのでしょうか。(p.6)
	伊藤	手法・事業効果	事業における成果・効果の目標は記載されておりますが、固定メンバーの参加による年間講座ではなく、随時参加可能な形式の中で、効果測定をどのように考えておられますか。また、その成果・効果の数値目標はどのようなのでしょうか。(p.7-8)
6	則竹	手法・事業効果	受講者を介護関係従事者(就業希望者を含む)に限定しないと無意味化してしまうと思いますが、募集のルートはどのようにお考えですか。(p.6-7)

令和3年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票

プレゼン順	1		
申請番号	1		
団体名		Global Healthcare Hub (グローバルヘルスケアハブ)	
No.	質問者	区分	質問事項
7	大野	手法・事業効果	事業計画書2頁の事業概要⑤「介護の日本語の勉強に有益な内容の記事」を作成とあるが、基本的な日本語能力がない方々に有用なのでしょうか。(p.2)
8	大野	手法・事業効果	本事業での対象となる方の国籍バランスをどのように想定していますか。(p.6-7)
9	山田	手法・事業効果	EPAなどで来日している介護福祉士やその候補生は一定の日本語能力が身につけていることが制度として条件だったと思います。今回の教室の対象者は、介護職が未経験、あるいは補助的な業務に従事されている方になりますか。(p.6)
10	竹井	区民理解・参加契機	この事業にたづさわった外国人の方が、新宿区の介護ボランティアとして参加する想定をしているのか。想定していれば、どのような体制、役割でボランティアを行うのでしょうか。(p.8-9)
11	伊藤	区民理解・参加契機	「介護分野の外国人と日本人の交流の場をつくる」とありますが、介護業務に従事していた日本人ボランティアの募集方法についてお聞かせください。目標としては何人を予定しているのですか。(p.7)
12	伊藤	区民理解・参加契機	「介護分野の外国人コミュニティを作る」とありますが、外国人介護人材ボランティアの募集方法についてお聞かせください。(p.7)
	松井	資金計画・見積り	<ボランティアについて> 介護業界に従事していたボランティア募集をどのように行うのでしょうか。謝礼が1時間2,000円設定の理由も併せて教えてください。(p.21)
	則竹	資金計画・見積り	ボランティア謝礼の単価が時給2,000円となっているのは妥当でしょうか。確かに単純なボランティアではなく介護従事者(経験者)のボランティアという特異性はあるもののボランティアという名目上はアルバイトの時給相場を超える額は妥当性を欠くのではないのでしょうか。(アルバイト時給相場等を斟酌すると時給1,000円程度または1回当たり2,000円程度とするのが妥当な水準ではないか)(p.21)
13	松井	計画・スケジュール	<介護人材交流会について> 日本語教室開催日と日にちが重なっています。どのように対応なさるのでしょうか。イベントをすべて木曜日に設定している理由も併せて教えてください。(p.6-7)
14	竹井	計画・スケジュール	事業収支予算表の①について確認です。今回ZOOMで開催とありますが、新宿区文化センターでの3回の会議室利用は何を行うのでしょうか。(p.21)
15	平野	先駆性・専門性	本事業を推進するのにあたり、介護事業者・介護NPOとの連携について教えてください。(p.8)

令和3年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票

プレゼン順	1		
申請番号	1		
団体名			Global Healthcare Hub (グローバルヘルスケアハブ)
No.	質問者	区分	質問事項
16	大野	先駆性・専門性	8頁⑧先駆性・専門性で、国内外の中国人向け情報発信実績があるとあるが、中国人以外の外国人向け発信の実績はありますか。(p.8)
17	松井	資金計画・見積り	<チラシはがきについて>印刷と郵送代行の見積もりの根拠を教えてください。(p.21)
	伊藤	資金計画・見積り	パンフレットを100枚作成とありますが、配布方法及び配布先について教えてください。またチラシはがき800枚とありますが、郵送先はどのようにして決定されるのでしょうか。(p.21)
18	則竹	資金計画・見積り	保険料が経費計上されていませんが、事業を実施するうえでの安全対策は大丈夫でしょうか。(p.21)
19	関口	資金確保・経営状況	団体の直近の財源はほとんどが委託事業収益でかつ、正味財産が4万円弱ですが、本補助金の自己負担分の確保の見込みはたっていますか。今後はどのようなファンドレイジングに取り組む予定ですか。(p.39)
20	則竹	その他	法人設立からの期間が約1年と経歴が浅いですが、組織としてのオペレーションのノウハウの確立やガバナンスのしくみが有効に機能していますか。(p.23)
21	大野	その他	12頁の「外国人介護職員の受入れ・活躍の現状」の国籍別人数内訳はありますか。(p.12) 【事務局より】三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「外国人介護職員の受入れと活動支援に関するガイドブック」の資料上には、国籍別人数内訳は掲載されていませんでした。

令和3年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票

プレゼン順	3		
申請番号	2		
団体名			CWS Japan (シーダブリューエスジャパン)
No.	質問者	区分	質問事項
1	竹井	地域課題・社会的課題	対象が大久保地区に偏っていると思う。他の地区の外国人の方にはどのように参加をいただき公平性を保つのでしょうか。(p.48-49)
	松井	継続性・発展性	<継続の展望について>大久保地区以外での展開も想定していますか。想定している場合は、エリア候補も教えてください。(p.52)
2	伊藤	地域課題・社会的課題	「大規模災害時における、外国人住民の脆弱性と想定されるニーズについて、新宿区を対象に調査を実施」とありますが、調査対象は何人ですか。(p.49)
3	関口	手法・事業効果	説明会勉強会の開催場所に教会が含まれていますが、他宗教信仰者の参加の妨げにもなり得ると思いますが、何か積極的な理由がありますか。(p.50)
4	関口	手法・事業効果	コロナ禍でのバーチャルツアーやオンライン対応等は適切な選択だと思いますが、対象地域・住民へのリーチ・広報等はより困難になります。何か対策を考えていますか。(p.49-50)
5	松井	手法・事業効果	<防災説明会について>地域リーダーやキーパーソンの選定方法と連携が既にとれているか教えてください。(p.50)
	伊藤	区民理解・参加契機	区民の参加を得るためには既存の市民組織の協力が不可欠と考えておられますが、既に市民団体等への働きかけされておられるのでしょうか。(p.51)
6	竹井	手法・事業効果	講師ボランティアの方は、どの国の言語で講義を実施するのでしょうか。(p.49-50)
	大野	手法・事業効果	ツアーに参加する外国人への説明言語は何ですか。(p.49-50)
7	伊藤	手法・事業効果	多文化共生×防災まち歩きバーチャルツアーについて 1日で、①大久保地区の災害リスク点検と把握②防災のための社会資源探しを計画されておりますが、対象者が延べ10名で十分な情報を得られるのでしょうか。(p.49-50)
	平野	計画・スケジュール	多文化共生×防災まち歩きバーチャルツアー(仮)の参加予定人数ですが、延べ10人は本事業を推進する上で適切な参加人数なのでしょうか。(p.49)

令和3年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票

プレゼン順	3		
申請番号	2		
団体名			CWS Japan (シーダブリューエスジャパン)
No.	質問者	区分	質問事項
8	山田	手法・事業効果	防災説明会・勉強会についてですが、具体的にはどのようなテーマを検討されていますか。また、過去に実施された具体例がありましたら、併せて教えてください。(p.50)
9	松井	計画・スケジュール	<バーチャルツアーについて>実施予定の時間帯の候補を理由と共に教えてください。(p.49-50)
10	伊藤	計画・スケジュール	防災会議・勉強会について 計画では参加予定者は延べ360名となっておりますが、会場参加者/オンライン参加者の内訳はどのようになっていますか。またそれぞれの参加者は個人としては何人ですか。(p.50)
11	伊藤	先駆性・専門性	外国人の防災意識向上に対して申請団体が日常行っている啓蒙活動についてお教えてください。(p.52)
	大野	先駆性・専門性	事業計画書⑧で「災害時の外国人脆弱層への支援の仕組みを構築すべく新たな活動を行っている」とあるが、どのような活動ですか。(p.52)
12	松井	資金計画・見積り	<通訳について>具体的な立ち位置(イベント中の関わり方)と謝礼が14日8時間計算の詳細を教えてください。(p.56)
13	則竹	資金計画・見積り	交通費について、民間企業でもテレワークへの取組みを要請されている中、10回もの往来は妥当でしょうか。バーチャルツアーの現地視察はやむを得ないとしても、打合せをオンラインとしない理由を教えてください。(p.56)
14	則竹	資金計画・見積り	事業収入について、予算計上額は0円となっておりますが、今後この事業を継続させるための資金確保はどのようにお考えですか。(参加料の負担を課すことで逆に参加意識向上の効果を期待)(p.56)
	伊藤	資金確保・経営状況	事業収益の大半が寄付金・助成金なのですが、自主事業を今後どのように考えておられますか。(p.56)
15	山田	その他	新宿区では、地域防災計画を定めています。今回の事業は、この地域防災計画を踏まえた内容になるのでしょうか。

令和3年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票

プレゼン順	2		
申請番号	3		
団体名		高卒支援会	
No.	質問者	区分	質問事項
1	関口	地域課題・社会的課題	申請書の地域課題等には、多文化共生社会を目指す新宿区において、一部外国人・外国人少年への差別を助長しかねない、エビデンスに基づかないもしくは曲解と思われる不適切な記載(※)があります。これは団体の公式見解という理解でよろしいですか。訂正される意向はありますか？(p.83) ※外国人・外国人少年による犯罪は全体人数の大幅な増加にもかかわらず、減少・横ばい傾向です。 【出典】法務省 令和2年度犯罪白書 http://hakusyo1.moj.go.jp/jp/67/nfm/n67_2_4_8_4_1.html http://hakusyo1.moj.go.jp/jp/67/nfm/n67_2_4_8_2_1.html
2	則竹	地域課題・社会的課題	対象者である区内の高校未就学の外国人の実数や実態を把握することはできるのでしょうか。全国的な平均値や全年代の総数からの推測では対象の規模やニーズが具体化できないかと思われませんが、継続化や発展性も考慮し、事業として成立する潜在需要があることを定量化できるのでしょうか。(p.83)
3	伊藤	地域課題・社会的課題	高校就学支援事業 この事業のうち、①保護者が外国籍出身で高校中退者の再度高校就学、についてですが、中退理由は様々だと思えます。中退理由の解消が必要であると考えますが、如何でしょうか。(p.83)
4	竹井	手法・事業効果	講師ボランティアの方は、どの国の言語で講義を実施するのか。(p.84)
	大野	手法・事業効果	高校未就学の外国人を対象とする場合の使用言語は何ですか。(p.84)
5	松井	区民理解・参加契機	<ボランティアについて>どのように募集するのでしょうか。募集の際の基準とイベントに携わるまでの教育等を教えてください。(p.85)
6	伊藤	区民理解・参加契機	ボランティア活動はあくまでも自由意志で参加する活動と判断致します。ボランティアとして派遣することは理想的とは思われませんが如何ですか。(p.85)
7	松井	計画・スケジュール	<進路相談会について>事前予約はどのようになさるのでしょうか。また1人あたりどのくらいの時間を想定しているのか教えてください。(p.84)
8	松井	計画・スケジュール	<学習サポートについて>未就学の方にとっての放課後活動を具体的に教えてください。実施の時間帯及び1人あたりの指導予定時間も併せて教えてください。(p.84)
	山田	計画・スケジュール	学習サポートは何時間でも、受講生が勉強したいだけ利用できるものなのでしょうか。(p.84)
9	伊藤	計画・スケジュール	事業計画書では、①相談事業(進路相談会)・②学習塾事業(学習サポート)・③ボランティア育成事業・④入学・転編入模試事業が計画されておりますが、実施要領では①と②の記載はあるのですが③と④についてはどのようになっているのでしょうか。(p.83-84)

令和3年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票

プレゼン順	2		
申請番号	3		
団体名			高卒支援会
No.	質問者	区分	質問事項
10	伊藤	計画・スケジュール	相談事業 相談事業は月1回、延べ30名の参加となっていますが、個としては何人を予定されておりますか。(p.84)
11	伊藤	計画・スケジュール	高校就学支援事業 この事業の対象者は①保護者が外国籍出身で高校中退者の再度高校就学と②フリーターの高校就学を支援するものです。それぞれの対象者と就学者は何人を計画されておりますか。(p.83)
12	大野	計画・スケジュール	実施場所を区の施設(しんじゅく多文化共生プラザ)としているが、コロナ禍での対応(閉鎖・感染対策)は大丈夫ですか。(p.84)
13	関口	先駆性・専門性	オンラインでの学習指導等は、一般の学校教育においても未だ試行錯誤の段階ですが、皆さんにはどのような実績やノウハウがありますか。対応にあたるスタッフの方は多言語対応や教員・日本語教師資格等は有していますか？(p.84-85)
14	大野	先駆性・専門性	事業計画書⑧先駆性・専門性で卒業生を中心としたネットワークの規模はどのくらいですか。また、随時活用可能なのですか。(p.85)
15	大野	先駆性・専門性	事業計画書⑧の留学経験者・外語大出身者・現役教員・海外ボランティア経験者などの協力を必要な人数、随時確保できるのでしょうか。(p.85)
	大野	資金計画・見積り	こうした方々への謝金は考慮済なのでしょうか。無償ボランティアとしての協力もあり得るのでしょうか。(p.85)
16	山田	先駆性・専門性	進路相談会では本人の悩みに適したNPOが実施している事業の紹介ですとか、学習サポートの放課後にボランティア活動への参加といったことを挙げてらっしゃいますが、日頃から連携されているNPOや地域団体がありましたら、どのような分野の団体か教えてください。(p.84)
17	則竹	資金計画・見積り	交通費について、民間企業でもテレワークへの取組みを要請されている中、9回もの往来は妥当でしょうか。打合せをオンラインとしない理由を教えてください。(p.88)
	松井	資金計画・見積り	<講師との打ち合わせについて>目的について教えてください。またオンラインでの実施は可能か否かとその理由についても教えてください。(p.88)
18	則竹	資金計画・見積り	事業収入について、学習サポートの1回分のみの計上となっていますが、今後この事業を継続させるための資金確保はどのようにお考えですか。(参加料の負担を課すことで逆に参加意識向上の効果を期待)(p.88)
19	平野	その他	既に外国人の高校生を対象にした支援活動、多文化交流の実績はございますでしょうか。

在日外国人向 「介護の日本語」教室



Global Healthcare Hub

一般社団法人Global Healthcare Hub
(略称GHH)

2021年6月

目次 ▶

- ▶ **地域課題・社会的課題** 03
- ▶ **活動内容** 12
- ▶ **収支予算** 20
- ▶ **今後の展望** 23

地域課題・社会的課題



1. 介護人材の確保

- 要介護認定者数が年々増え、これから介護人材の不足が大きな問題と考えられる
- 介護事業所が人材の不足感を持ち、平成25年以降、5年連続で不足感が増加していた

1.7 要介護(要支援)認定

(1) 要介護(要支援)認定者数

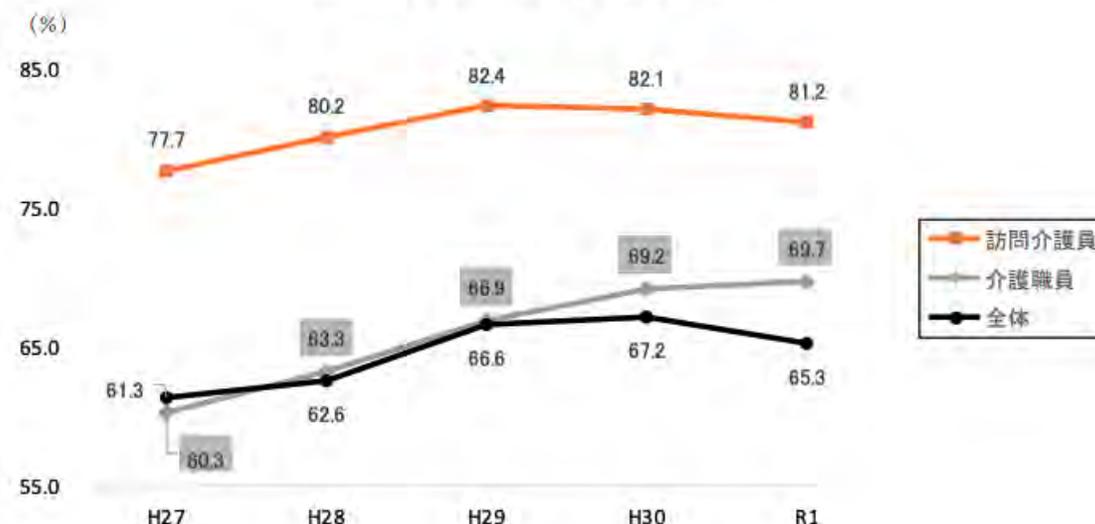
(各年度末日現在)

年度	区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
		人	人	人	人	人	人	人	人
28		2,075	1,756	2,509	1,953	1,440	1,649	1,455	12,837
29		2,337	1,842	2,557	2,001	1,653	1,660	1,407	13,457
30		2,346	1,921	2,655	2,046	1,641	1,730	1,383	13,722
元		2,382	2,106	2,674	2,282	1,584	1,708	1,397	14,133
	第1号被保険者	2,363	2,058	2,634	2,235	1,549	1,683	1,361	13,883
	65歳～74歳	296	288	266	260	158	153	150	1,571
	75歳以上	2,067	1,770	2,368	1,975	1,391	1,530	1,211	12,312
	第2号被保険者	19	48	40	47	35	25	36	250

(福祉部介護保険課)

新宿区ホームページ「令和2年度新宿区の概況」

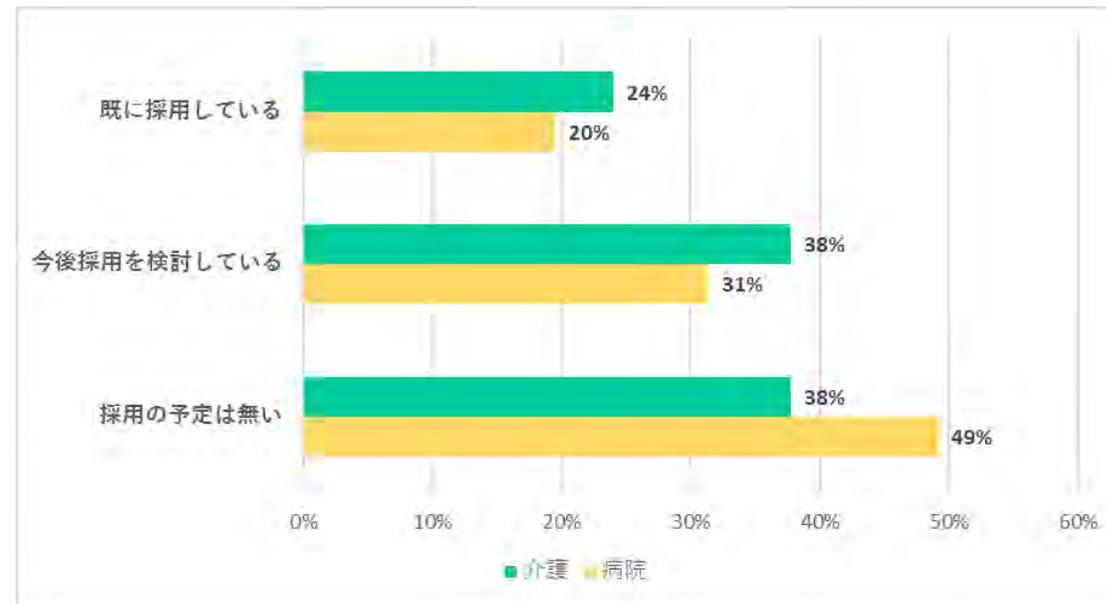
(図1) 不足感の推移 (職種別)



公共財団法人 介護労働安定センター「令和元年度介護労働実態調査」



- 解決策の一つとして、外国人介護人材の受入が進められている
- 経済連携協定（EPA）により、インドネシア等からの看護師・介護福祉士候補者の来日
- 新たな在留資格「介護」の創設
- 「技能実習生」、「特定技能」制度に介護分野への対象職種を追加される



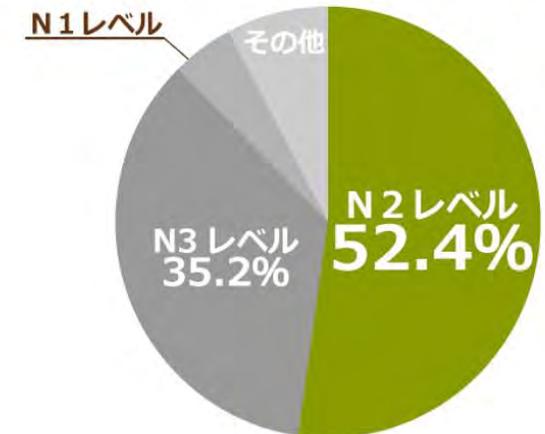
セカンドラボ「外国人介護労働者の採用に関する調査」Q1.外国人介護労働者の採用について

2. 外国人労働者の日本語能力の不足

- 基準では、日本語能力はN3やN4レベル以上で良いとされているが、受入先の介護施設の過半数は、介護業務が任せられるのはN2以上と考えている
- 外国人労働者が戦力としての労働力としてあまり期待されていない

N4認定の目安	介護現場での日本語
<ul style="list-style-type: none"> • 基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる。 • 日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。 • 書く力と会話力を測れない 	<ul style="list-style-type: none"> • 声かけや会話など利用者さんとのコミュニケーションが大事 • 職場の同僚の話すスピードが速い • 専門的な単語や名称（転倒、脈拍、熱発など）を使う • 業務日報や介護記録などを書くことが必要

介護業務を任せても良いと思う日本語レベルは？
(受け入れ先の介護施設にアンケート)



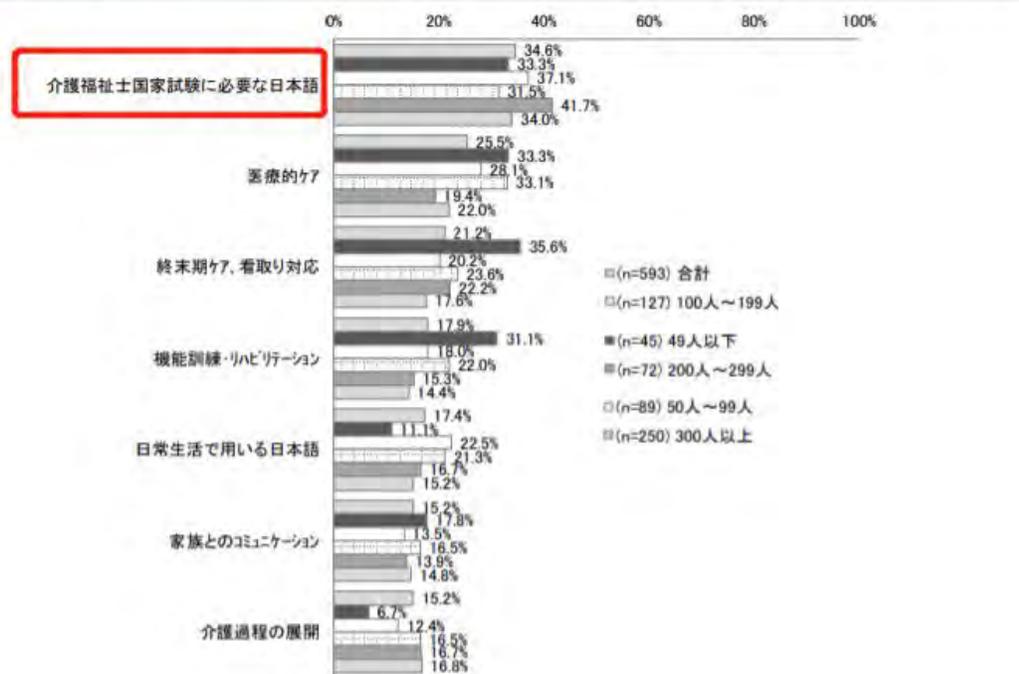
『外国人介護士の現状～EPAによる受入れを中心として～』（公益社団法人 国際厚生事業団）



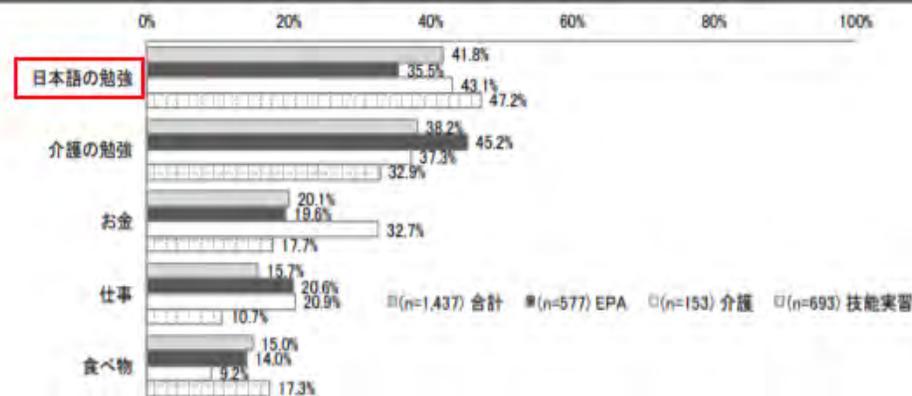
3. 介護施設に就労する外国人の日本語学習の場の確保

- 日本語能力の学習環境が整備されている介護施設は多くない
- 外国人介護人材が日本語能力を伸ばしたいと考えても、介護の日本語が勉強できる場所は極めて少ない

受入れ施設において、外国人介護職員向けの研修等を実施することが困難なテーマ



最近1年間で困ったこと



三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「外国人介護人材の受入れに関するアンケート調査」（平成30年10月1日時点調査）



- 新宿区においては370件の介護サービス事業所があり
- 新宿区に住む外国人の数は23区の中で最多



ハートページ 新宿区版 2021年3月時点の検索結果

各区ごとの外国人数と割合



東京都総務局人口統計課のデータを基に編集部作成 (各年1月1日現在)

nippon.com

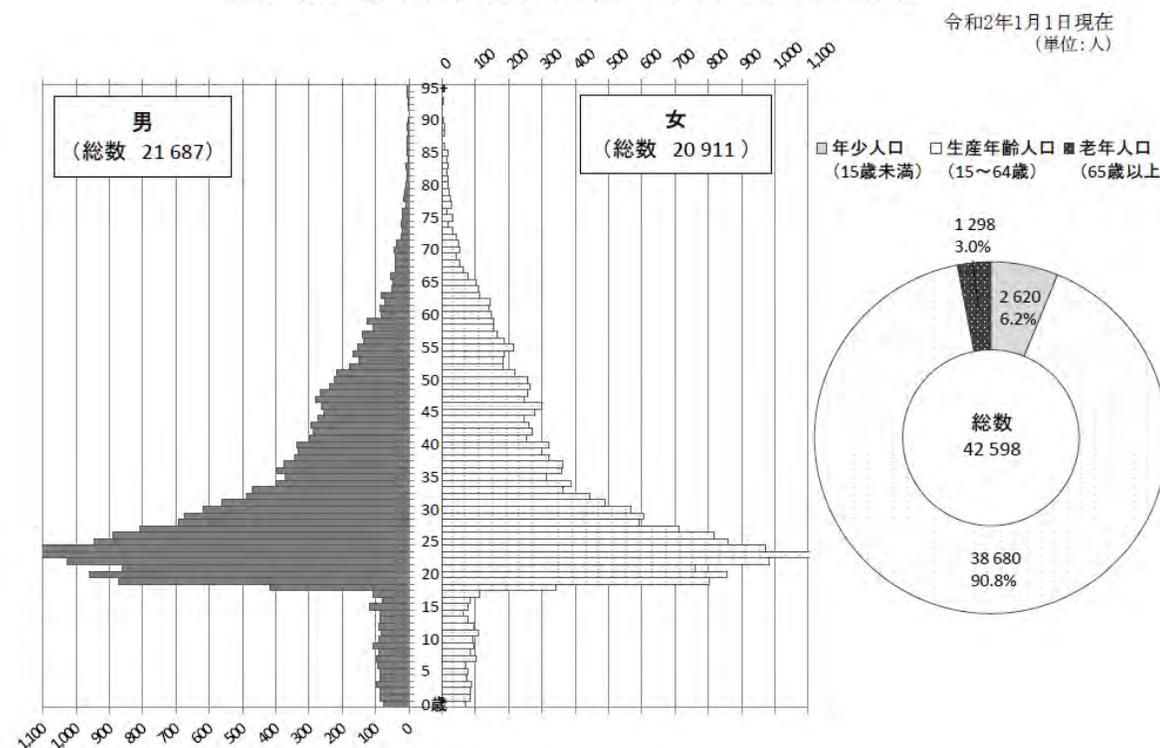
nippon.com記事「東京で暮らす外国人、過去最多の55万人：新宿区は全人口の12.4%に」 2019.02.22



4. 新宿在住の外国人の介護知識の向上

- 新宿区在住の外国人は42598人で、65歳以上の老年人口は1298人となっている
- 永住者、高齢者は増加を続けており、今後、日本人同様に介護の社会化が課題になると予想される

図2 住民基本台帳人口(外国人のみ)の年齢別構成



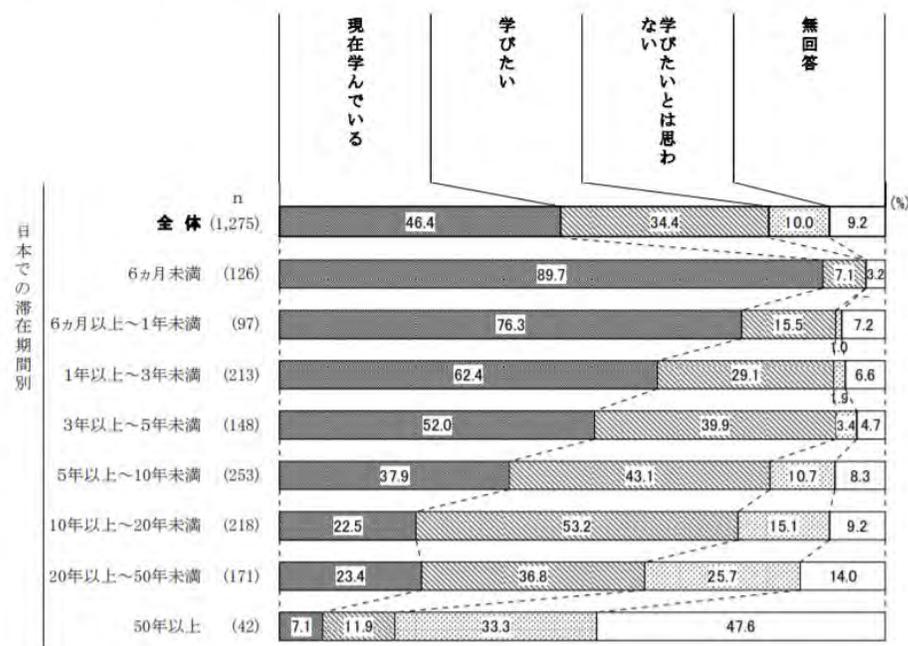
新宿区住民基本台帳人口(外国人のみ)の年齢別構成(令和2年1月1日時点)

Copyright© Global Healthcare Hub. All Rights Reserved.

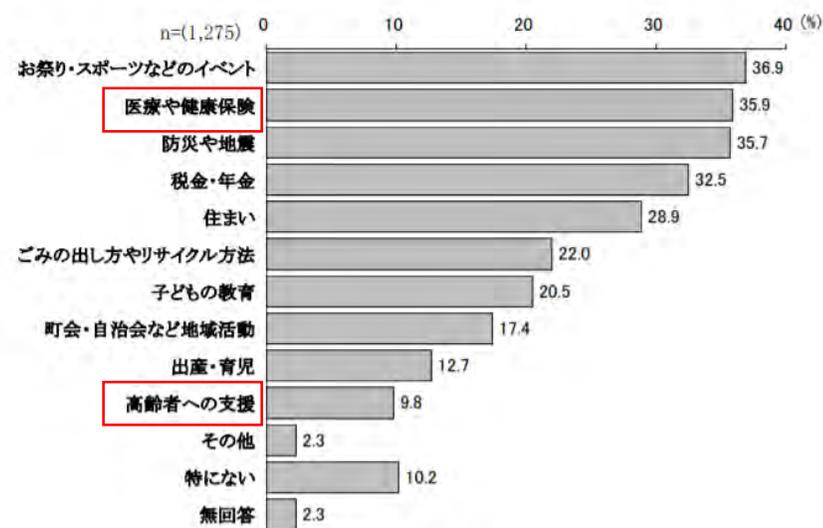


- 20年以上の滞在している外国人の日本語学習意欲も高いまま維持されている
- 新宿区で生活していく上で知りたい情報として、医療や健康保険、高齢者への支援があげられている
- 外国人人材が日本語を学習するに際して、介護分野の日本語学習を実施するのは有意義ではないかと想定している

<図表3-9>日本語の学習意向《日本での滞在期間別》



<図表5-4>新宿区で生活していく上で知りたい情報（複数回答）



平成27年度新宿区多文化共生実態調査



5. 介護分野で働く外国人のコミュニティ作り

- 変則勤務による外部との交流機会が少ない
- 日本人との仲間作りが難しい
- 介護職の方同士でしかわからない話題を共有する相手がない
- 異文化適応、ホームシックなど心の悩みを相談できる場所が少ない
-



活動内容

「介護の日本語」教室

介護人材交流会



「介護の日本語」教室

実施期間： 令和3年7月1日 ～ 令和4年2月28日
毎月毎週木曜日（第1木曜から第3木曜）
午後7時から午後9時 総計21回

対象者： 介護分野で働く外国人、介護に対する興味がある外国人
（新宿区在住・在勤・在学の人を中心に募集する）

参加予定人数： 毎回10人程度

開催場所： Zoom開催

授業内容： ①介護の日本語（1時間）
②介護の知識（1時間）

※固定メンバーの年間講座ではなく、毎月参加者を募集し、素材を変えて、**随時参加可能**な形式

※参加者の日本語・介護理解のレベル差がある場合には月3回を**異なるレベル**（例えば、初級・中級・上級等）のクラス分けをする

運営体制： 講師1名 講座の準備と講座実施、勉強に有益な内容の**記事**を作成、WEBで配信する
ボランティア1名 ロール・プレイングや参加者が日本語を理解できない時の対応とサポート



- 大半の参加者は介護用語を使って書く・会話することができる



「介護現場に必要な日本語能力」
を測定するツール

外国人介護福祉士バンドスケール 業務・学習場面編

スケール	書く	聞く	話す	読む
1	ひらがな、カタカナが書ける。 自分の名前、	介護現場でよく使うことばが聞きとれる。 名前、あいさつ表現	自分の名前、利用者の名前が言える。短い自己紹介ができる。 はじめまして、〇〇です。 どうぞよろしく。	現場でもっともよく目にする文字や語句を読むことができる。 担当利用者の名前
2	頻度の高いことばは、漢字を使って書ける。 PCの日本語入力開始。 専門用語の練習・利用者の名前	【利用者】 利用者の簡単な要求や身体についての発言が聞き取れ、大意が理解できる。 のどが渾いた、背中がかゆい等→同僚の助けを求める 【施設関係者】 業務に必要な必要最低限の指示が聞き取れ、理解できる。 お風呂に入れるなど	【利用者】 一方的な声かけができる。あいさつができる。 おはようございます。 元気ですか。 【施設関係者】 単純な欲求を述べることができる。わからないことを確認することができる。 ～したいんですが。～てください。～ってなんですか。	現場で使用頻度の高い簡単な漢字を見て意味がわかる。(ただし、読み方がわからない場合もある。) 施設の職員・利用者全員の名前・病状・介護用語 ＜国家試験過去問題練習場面＞ 問題文の中に、知っている単語、表現がある。
3	決まった書式に定型表現を記入することができる。 バイタルチェック表、排泄チェック表等	同僚が使う専門用語と利用者を使う一般的表現の両方が理解できるようになる。 洗髪・髪を洗うなど	利用者と施設関係者等、相手によって、使用語彙・表現を使い分けられることができる。 髪を洗いました。 髪を洗いましたか？ 洗髪しました。	見慣れた、且つ簡単な書類や表等なら、読んで理解できる。 バイタルチェック表、排泄チェック表等 ＜国家試験過去問題練習場面＞ ふりがながあれば領域「介護」に関する問題を読むことができる。 ふりがな付き試験問題
4	施設の書式に従い、よく使う短い文を書くことができる。 PCを使用して、専門用語や漢字に正確に変換できる。 介護記録	利用者の要求や訴えを聞き、内容を理解し、適切な行動に移ることができる。 背中がかゆい等→発赤の有無を確認	利用者の欲求や訴えに対し、適切な返答ができ、行動に移ることができる。 背中がかゆいんですね？ちょっと見てみましょうか。	書類や記録によく使われるフレーズなら、補助があれば読める。 書類・介護記録 ＜国家試験過去問題練習場面＞ 領域「介護」に関する問題を読み、解答することができる。 ふりがな付き試験問題
5	書類や記録によく使われるフレーズなら、文章で記録できる。 介護記録 PCで書類を作成する	利用者の個人的な内容や方言による長い話を聞いて理解し、話し相手ができる。 身体上のケアに加え、精神上的のケアもできる。	短い文を使って、身体上のやり取りに加えさまざまな内容のやり取りができる。相槌が打てる。話題を変えたりしながら会話が続けられる。	書類や記録によく使われるフレーズなら、一人で読める。 書類・介護記録 ＜国家試験過去問題練習場面＞ 領域「こころとからだのしくみ」に関する問題を読むことができる。 試験問題
6	補助があれば、書類や記録を書くことができる。 介護記録 利用者家族には丁寧な書き方ができる。 行事案内等	初任者研修終了程度の専門知識をもち、スタッフ間の専門用語を用いた長い会話が聞き取れる。 日常業務の申し送りに参加できる	【利用者】 病状や利用者の違いにより、聞きやすい話し方やことばの違いを選ぶことができる。 【利用者家族】 丁寧なことばの違いができる。 【施設関係者】 よく使う専門用語を使って、話すことができる。	書類や介護記録を読める。 書類・介護記録 ＜国家試験過去問題練習場面＞ 領域「こころとからだのしくみ」に関する問題なら読み、解答することができる。 試験問題



例：ワセダバンドスケール（介護版）を用いる日本語のレベル診断結果

【フェイスシート】

- ① 自己紹介からの質疑応答
- ② 日本語学習歴（一般・介護）・使用教科書・JLPT

評価 1 2 3 ④ 5

使用した会話ストラテジー：ナシ

日本語学習歴。中国にて5か月。『みんなの日本語』N4合格。
介護の日本語学習歴。少し有。介護の語彙と介護の技術を学習。

*以下レベル1～3はワセダバンドスケールに準拠。

【レベル1】評価基準

専門用語の使用： 評価 1 2 ③ 4 5

一般日本語の使用： 評価 1 2 3 ④- 5

【レベル2】評価基準

職員の指示の聴解 評価 1 2 ③+ 4 5

利用者への声掛け 評価 1 2 3 ④ 5

利用者の訴えの聴解 評価 1 2 ③ 4 5

【レベル3】評価基準

身近な話題に関する会話の展開・身近な話題に関するオープンクエスチョンへの返答

評価 1 ② 3 4 5



開催日程：3年7月15日（木）

11月18日（木）

4年 2月17日（木） 午後7時から午後9時

開催場所：新宿文化センター 第3会議室（大久保地域センター、多文化共生プラザ等も検討）

対象者：新宿区在住もしくは区内介護分野で働く外国人、介護に対する興味がある外国人

活動内容：毎回2人の介護職員のボランティアを募集する

ボランティアの共有と発表40分、自由発話の情報交換交流80分

※仕事経験や介護福祉士試験の勉強方法など**毎回違うテーマ**

※交流会後**SNSのグループ**を作る

安全対策：新型コロナウイルス感染症を防止する為、交流会を会場で実施の際は、人数を絞り、ソーシャルディスタンスの励行、消毒・マスク等の感染症対策に万全を期す。また、感染状況に応じ、オンラインでの開催も検討する。



宣伝方法



チラシ（イメージ）
毎月80枚程度郵送
事業所・学校へメール

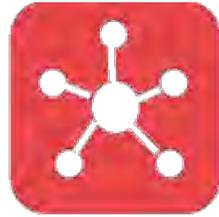


区内施設・連携学校で
パンフレットを置く



HP、SNSで宣伝
グループ数：20個以上
フォロワー数：300以上





Global Healthcare Hub

一般社団法人Global Healthcare Hub

- 文部科学省「令和2年度 専修学校グローバル化対応推進支援事業」運営団体
- 社会福祉法人 正吉福祉会「外国人介護実習生従業員向け日本語と技能検定対策オンライン教育プログラム」を運営する

Activities Report

産学連携マッチングモデルの構築

学校や企業の人材ニーズ情報を提供頂き、オンラインとオフラインのマッチング会を開催して、専修学校・日本語学校と奨学金、アルバイトや就職の機会を提供することが可能な企業との連携を促進します。産学連携受入モデルを構築して、海外の学生の来日後の経済面とキャリア面への不安を解消し、留学から就職までの来日プロセスを支援する体制の構築を目指します。

実績

- 参加者数合計: 58名
- 参加学校企業: 25校社
- マッチングケース: 面談数 34回



Activities Report

在日留学生の職場理解の促進

専修学校と日本語学校の在日留学生向けに、日本の介護教育と介護産業への魅力を高めるための情報提供、介護施設見学、とインターンシップを実施します。介護に関わる仕事の意義と専門性への理解を深めることで、円滑に専修学校の入学、卒業、就労につながる事が期待されます。

実績

- 3回開催
- 参加人数 247名
- 視聴数 1261回
- コンテンツ閲覧数 548回



Activities Report

企業の外国人採用サポートと留学生の就労機会の創出

介護施設・企業に向けて、外国人採用に関する在留資格制度等の情報の共有、外国人が活躍している介護施設の見学による経験の共有、等を実現することで、外国人受入への不明点や不安を解消し、留学生の就労機会を創出します。

実績

- イベント数: 再開を含めて 4回
- 参加人数合計: 58名



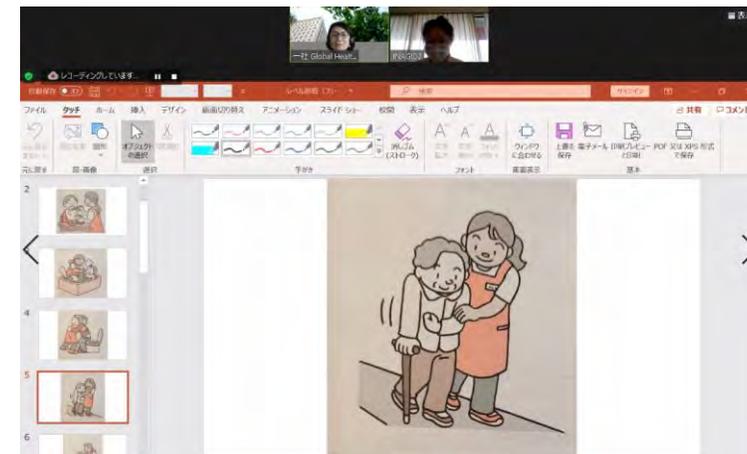


宮崎 里司

- 早稲田大学大学院日本語教育研究科教授
- 「すみだ日本語教育支援の会」会長
- 著書『外国人介護職への日本語教育～ワセダバンドスケール（介護版）を使った教え方』など



「すみだ日本語教育支援の会」で介護職に就く外国人に対する日本語教室の運営に携わる



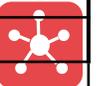
宮崎チームとGHHは「社会福祉法人正吉福祉会 外国人介護実習生従業員向け日本語と技能検定対策オンライン教育プログラム」を実行する



収支予算

収支予算 (支出)

費目		予算額	内訳
事業費	①使用料及び賃借料	16200円	新宿文化センター(第3会議室 平日夜間利用) 5400円×3回 = 16200円
	②印刷製本費	174680円	チラシはがき印刷 + 郵送代行 200円×800枚 = 160000円 日本語教室740枚(初回100枚各月80枚×8ヶ月)+交流会60枚(20枚×3ヶ月)※印刷と郵送のセットで郵送代行で発注 掲示用チラシ印刷 11円×110×8ヶ月 = 9680円 日常印刷費カラー50円×100枚 = 5000円
	③消耗品費	7000円	A4コピー用紙1箱 2000円、その他文具等 5000円
	④委託費	125000円	ホームページ掲載用コラム記事作成委託費 5000円×15本 = 75000円 パンフレット制作費 50000円 「介護の日本語教室」開講案内 デザイン料を含み100枚作成
	⑤講師謝礼	144000円	講師謝礼 3000円×2時間×24回 = 144000円
	⑥その他謝礼	120000円	講座ボランティア 2000円×2時間×21回 = 84000円 イベントボランティア 2000円×2時間×3人×3回 = 36000円
	⑦交通費	6000円	打ち合わせ交通費 1000円×2日×3人 = 6000円
	⑧保険料	0円	
	⑨その他諸経費	12800円	Zoom導入費: 1600円×8ヶ月 = 12800円 通常の法人アカウントとは別に契約
	⑩新型コロナウイルス感染症対策経費	4000円	手指消毒液 1000円×2本 = 2000円 除菌シート 1000円×2個 = 2000円
	⑪人件費	152420円	団体構成員 1050円×16時間/月×8ヶ月×3人 = 403200円 うち250780円は助成対象外事業費へ
事業費 (①から⑪の合計)		762100円	
⑫ファンドレイジングに関する経費		0円	
⑬助成対象経費 (事業費 + ⑫)		762100円	
⑭助成対象外経費		250780円	人件費250780円 (助成対象外分)
事業総額		1012880円	



収支予算 (収入)

内 容	予算額	積算根拠 (内訳)
㊦事業収入 (参加費、資料代等)	120000円	日本語教室参加料 500円×10人×24回 = 120000円
㊧寄附金	100000円	関連会社・提携団体からの寄付金
㊨補助金収入	円	
㊩協働推進基金助成金	500000円	
㊪団体負担金	292880円	団体自社負担
収 入 総 額		1012880円



今後の展望

1. 来年度から対面での教室を運営する
2. レベルに合わせた講義の多様化、実技を含んだ内容の多様化等、参加人数拡大を図りたい
3. 新宿区内の施設への就労者、区内在住の就労者の実態を確認し、コミュニティへの参加者を増やしたい。就労者の能力向上、モチベーションのアップ効果とともに、新宿区内の介護施設・事業者への就職希望の増加、人材不足への対応の一助になることも期待できる。
4. 効果が認められれば、公的援助、施設等の支援、社会からの支援等、幅広く支持と資金支援を期待し、参加者の拡大や講義内容拡充を進めたい。
5. 海外への発信等も含めて情報発信に努め、新宿区の介護水準の高さや、異文化共生意識の高さを広報していきたい。
6. 参加者自身のコミュニケーションの増加や海外への情報発信が進めば、海外人材の確保等にも繋がると期待できる。



ご清聴ありがとうございました



Global Healthcare Hub

外国人をはじめとした高校 未就学者支援事業

2021年6月吉日

NPO法人
高卒支援会
フリースクール・通信制サポート高校

日本の学校の授業についていけず、 退学してしまう外国人が多い？

新宿区における外国人移住者は、令和3年4月現在36,354人にも上り、区内人口の11%を占める。この数は23区内の中でも上位であり、区民のニーズとして外国人の支援は必要不可欠である。

**NPO法人
高卒支援会**

フリースクール・通信制サポート高校

外国人移住者の日本語の識字率が低い！

文部科学省の平成30年度日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査によると、公立高校において日本語教育が必要な外国人生徒の中退率は、9.61%にも上り、日本人生徒の中退率に比べ約7倍にもなる。この数値から新宿区においても、高校を不本意ながら中退するケースは少なくないと考えられる。

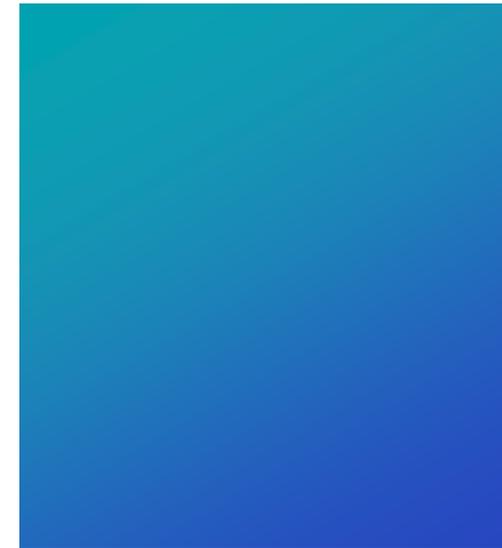
**NPO法人
高卒支援会**

フリースクール・通信制サポート高校

中退すると問題点が多い...！？

・ 学校組織に所属しない人間は日本においてマイノリティーであり、就労が困難になり、日本社会で共生していくのがより困難になるのは自明である。

・ その上非行に走り、新宿区の治安に悪影響を及ぼす可能性が高い。実際、平成30年度版犯罪白書によると日本における外国人犯罪の検挙数は、合計21,289件にものぼる。予防対策が区民から必要とされていると考えられる。



しかし現状は...？

現状として、新宿区で行われている就学支援事業は、小・中学生を対象とした事業が主であり、高校未就学者のニーズに応える事業は存在しない。



事業内容



NPO法人
高卒支援会

フリースクール・通信制サポート高校

イベント I

進路相談会

活動内容： 高校未就学者（国籍問わず）を対象として、進路や学校生活の悩みを聞く、相談事業を月1回の頻度で開催する。

具体的には、インターネット上での情報入手が難しい都立高校への転入・編入試験や、高校中退者を比較的受け入れやすい高校の説明、学校生活で上手く溶け込むコツ、新宿区の他の支援事業の紹介、国・東京都他NPOなど、本人に適した事業への紹介を行う。

**NPO法人
高卒支援会**

フリースクール・通信制サポート高校

3 stepの相談事業

Step1

- ポスターやチラシ、SNSや当会HPで周知する。

Step2

- 実施日、しんじゆく多文化共生プラザや新宿エルタワー教室で、進路説明をする。

Step3

- 希望者に個別で相談を行う。

イベントⅡ

学習サポート

～オンライン併用～

活動内容：日々の学習で困ったところを丁寧に指導する。高校就学レベルの学力・語学力を身につけさせるのと同時に、日本での学校生活への適用を目標とし、高校就学を支援する。また、当会の日本人生徒との交流イベントなどを主催させることによって、外国人の地域社会への貢献を目指す。

**NPO法人
高卒支援会**

フリースクール・通信制サポート高校

3 stepの学習サポート

Step1

- ポスターやチラシ、SNSや当会HPで周知する。

Step2

- ①実施日、しんじゅく多文化共生プラザや新宿エルタワー教室で、授業を行う。
- ②あるいは、当会の日本人生徒と交流を行う。

Step3

- 希望者に個別での学習サポートや相談を行う。

NPO法人
高卒支援会

フリースクール・通信制サポート高校

実施期間 : 2021年7月1日～2022年3月31日

実施頻度 : 1~5回程度/月

実施場所 : しんじゅく多文化共生プラザ ※6月16日現在 オンライン
新宿エルタワー教室（毎週金曜日）

対象者及び参加予定人数: 30名

周知媒体 : ポスター、チラシ、SNS、HP

周知先 : 区施設（特別出張所、地域センター等）
区直営掲示板
新宿区の小学校、中学校、高等学校

スタッフ人数 : 団体構成員2名
ボランティア2名



安全対策は...？

【事業実施にあたっての安全対策】

問題行動が原因で、高校を未就学者状態になっている者に関しては、逆上するケースが考えられるため、対応にあたる際には必ず2人以上の職員を常駐させる。

【新型コロナウイルス感染症対策】

指導の際は、入室時の検温、マスク、FACEシールドの着用を徹底し、イベント前の体調アンケートも実施する。



期待される効果は？

【区民や地域社会への成果・効果】

新宿区に在住、在勤、在学している大学生やボランティアを雇用することで
地域の社会貢献活動への関心が高まる！

また、外国人の就学支援に留まらず、新宿区のイベントに
生徒をボランティアとして派遣することによって、
多文化共生がより促進されることが期待される。

【現状や課題に対する成果・効果】

外国人高校未就学者が就学することは、新宿の治安維持に繋がる
と同時に、貧困の防止に有効である。

また、しんじゅく多文化共生プラザの利用者の増加、多様化が見込める。

当団体の先駆性・専門性！

	他団体	当会
支援対象	外国人メイン	日本人 外国人（今回の事業により）
多文化交流		

また、学生インターン、ボランティアの中にも留学経験を持つ者、現役教員、海外ボランティア経験がある者がいるので、十分に対応できると考える。



今後の展望！

提案事業終了後も当団体の新宿エルタワー教室や
多文化共生プラザを活用しながら、
本事業も継続する。

また、オンラインを使った相談体制が整っているので、
コロナウイルスの影響を受けずに相談に乗ることが出
来る。



NPO法人高卒支援会 活動実績

- ・ 協賛企業 **LEC東京リーガルマインド**
 (池袋・水道橋・新宿エルタワー教室無償提供)
NTT esports事業 eXeFiledAkiba
- ・ 2016年度 新宿区子ども未来基金 300,000円
- ・ 2017年度 大和証券ボランティア活動助成 295,000円
 地域ささえあい活動助成金 200,000円
- ・ 2018年 ニッセイ財団 児童・少年の健全育成助成 380,000円
- ・ 10月 渋谷区総合ケアコミュニティ・せせらぎのせせらぎまつり
 にて屋台、小学生以下向けの工作、無料進路相談ブースを設置
- ・ 11月 渋谷ハチ公前にて薬物乱用防止啓発活動の
 ボランティアスタッフ参加
- ・ しぶやボランティアセンター（社協）へ感染対策用エプロン納品
- ・ 2020年 10月 新宿NPO協働推進センターにて体育祭





竹村 聡志 | Takemura Satoshi

NPO法人高卒支援会 理事長

幼少期は6度の転勤を経験

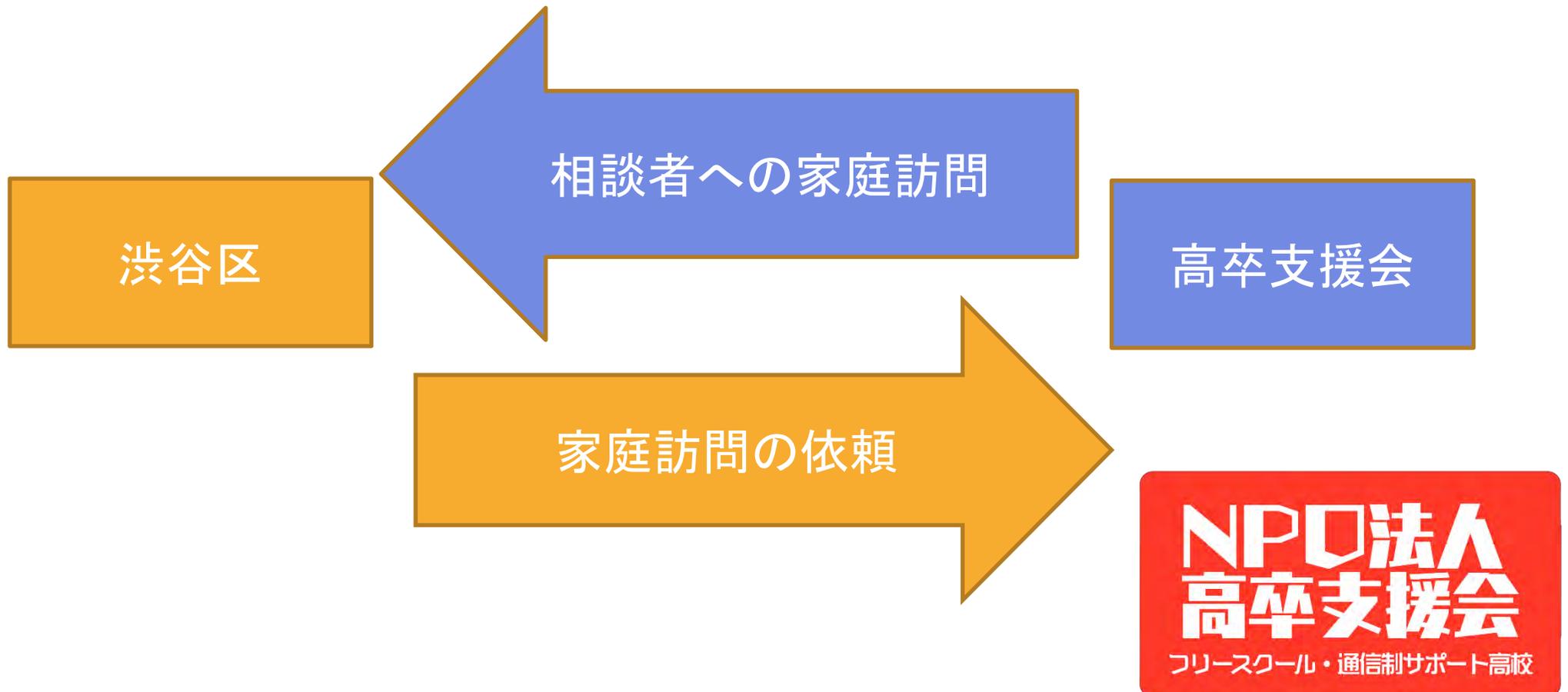
- ・ 中学受験失敗、渋谷区立代々木中学校に進学
- ・ 高校受験で再び進学校を受けろと言われ、私立本郷高等学校へ
成績不振で留年しかけたが温情で卒業
- ・ 帝京大学経済学部経済学科入学→不本意入学による中退
→東洋大学教育学科再入学し卒業、中高教員免許取得
- ・ 栄光ゼミナール講師勤務6年・NPO法人高卒支援会でインターン活動3年
→その後正社員として高卒支援会に入社。高卒支援会の現場責任者へ。
国家資格キャリアコンサルタント取得 LECにてサブ講師を1年
- ・ NPO法人高卒支援会理事長就任（2020年9月）
「夢」
学校の設立



自治体との連携実績

2021年5月

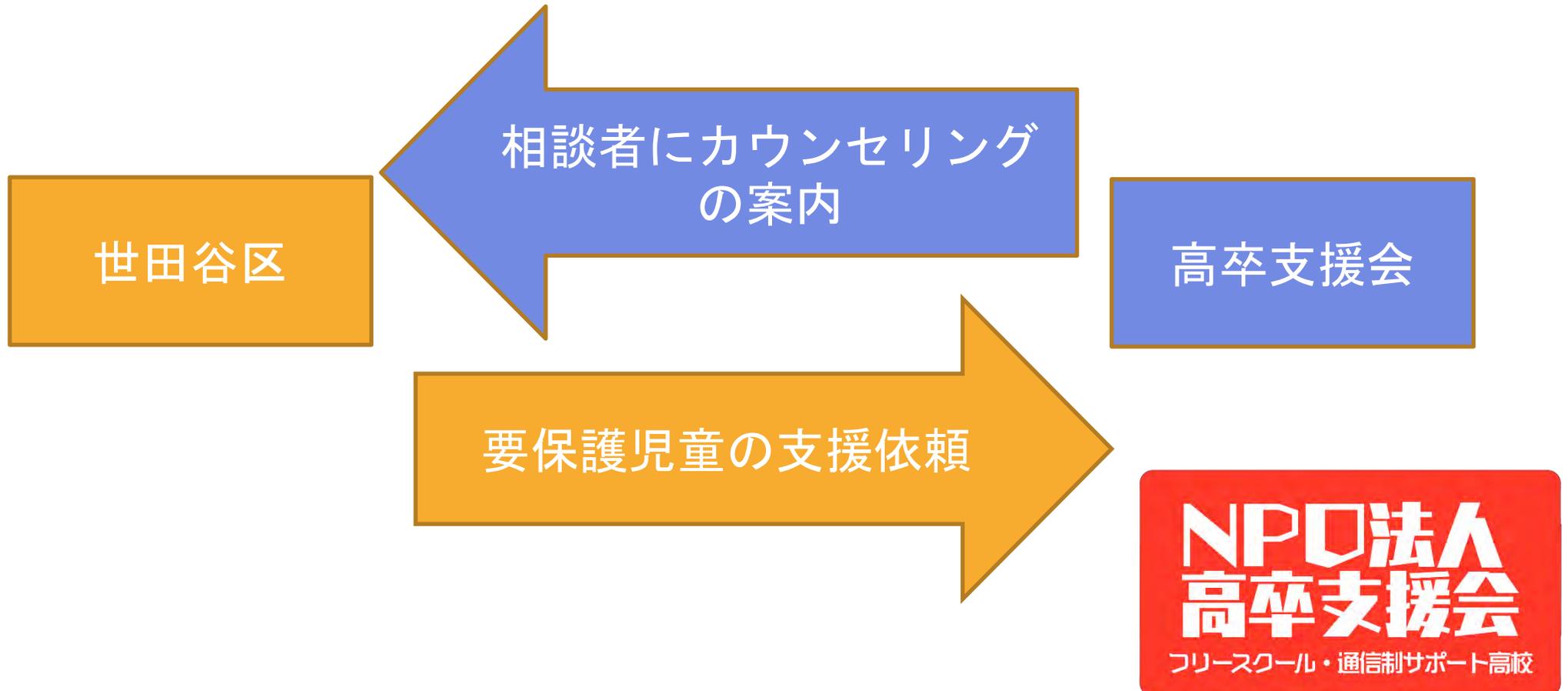
渋谷区教育センターフォロースタッフ登録



自治体との連携実績

2020年12月

世田谷区要保護児童支援協議会 構成員受託







令和3年度新宿区協働推進基金助成金
一般事業助成

多文化共生型災害に強い 地域づくり

特定非営利活動法人CWS JAPAN

発表の流れ

1

団体紹介

2

地域課題・事業目的

3

活動内容、実行体制

4

期待される効果・今後の展望

1. 団体紹介

- **設立年**：2011年
- **事務所**：新宿区西早稲田
早稲田奉仕園内



- **活動内容**：

米国に本部を置くCWS Japanの活動は、敗戦直後の日本に贈ったララ物資による救援活動から始まった。1963年まで支援活動を続け、米国本部の撤退後、日本人職員が立ち上げた社会福祉法人（現日本キリスト教奉仕団）がその働きを引き継ぐ。2011年の東日本大震災発生に伴い、緊急支援を行うため、再び東京に事務所を開き、CWS Japanが設立された。

それ以降、これまで数々の災害現場にてこれらのネットワークを通して、円滑で効果的な支援を国内外において、現地パートナーと共に実施してきた。災害時の被害軽減と迅速な災害対応を行うためには、平時からの防災活動が重要であるとの学びから、国内外において防災力向上事業も展開している。

2. 地域課題・事業目的

昨年から実施している調査の結果、下記が新宿区における防災の課題として分かっている。

新宿区在住の外国人の

- 1) 災害経験不足、
- 2) 防災・減災意識不足、
- 3) 避難行動や備えに対する意識・知識不足、
- 4) 日本の公的避難所機能・支援内容に関する認識不足、
- 5) 日本政府や支援団体による緊急災害対応に関する知識不足、
- 6) 平時からの地域住民との交流不足。

特に
支援組織とも繋がっていない、近所の人とも付き合いもなく、地域と繋がっていない若年層
(留学生、技能実習生)。

【事業目的】

国籍・文化など多様な背景を持つ外国人が集住する新宿区において、外国人を含む地域住民が、防災を考え、学ぶ機会・場づくりを通して、**大規模災害時の自助・共助に向け、地域住民・支援団体・行政機関との協力関係を醸成していく。**

3. 活動内容、実行体制

◆イベント1：多文化共生X防災まち歩きバーチャルツアー(仮)

大久保地区における基本的な災害リスクの把握、防災のための社会資源探しを目的としたバーチャルツアー。

【計画案一例】

①実施形式：オンデマンド式/録画式による動画配信、②内容：日々歩いたり、利用している場所や施設周辺の災害リスクを紹介したり、災害リスク軽減につながる地域の豆知識を多言語で紹介する、③実行体制：地域の若者と構成の考案、広報、実行を協働で進めることを計画中。

◆イベント2：防災説明会・勉強会(案)

防災に係る多様なテーマを取り上げ、防災の普及啓発を目的とした勉強会/説明会を実施する

【計画案一例】

①実施形式：新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら、オンライン・対面方式を検討、②内容：日本の災害と都市部のリスク、公的災害対応・システム、外国人のお困り事、平時の備え、ネットワーキング等、③実行体制：地域内の宗教施設、支援団体、学生サークル、商店街などの巻き込みを計画中。

外国人を含む
地域住民が、
防災を考える
きっかけ作り

外国人を含む
地域住民が、
防災・共助を考
える機会

4.期待される効果・今後の展望

【期待される効果】

有事の際に、より円滑・迅速に災害支援を遂行することにもつながると期待して、、、

- 平時から住民間（外国人・日本人住民）の関係性構築と災害に対する危機意識を持つきっかけになる。
- NPOを含む支援団体と区行政が平時から本事業運営に関わることで信頼・協力関係が生まれる。

【今後の展望】

将来的には、対象地区の地域防災計画が地域住民との協働によって作られ、地域内の共助の仕組みが構築されることを目指す。

ご清聴ありがとうございました。

令和3年度 新宿区協働推進基金助成金 一般事業助成公開プレゼンテーションについて

1 プレゼンテーション実施団体及び事業概要

プレゼンテーション実施順

No.	団体名	事業名	助成申請事業概要
1	一般社団法人 Global Healthcare Hub (グローバルヘル スケアハブ)	在日外国人向け 「介護の日本語」教室	<p>① <u>主な対象</u> 介護分野で働く外国人（日本人）、介護に対する興味がある外国人</p> <p>② <u>目的</u> ・外国人介護人材の日本語能力とスキルを向上させる ・介護分野の外国人と日本人の交流の場を作る ・介護分野の外国人コミュニティを作る</p> <p>③ <u>活動内容</u> ・「介護の日本語」教室（年21回） ・介護人材交流会（年3回）</p>
2	非営利活動法人 高卒支援会	外国人をはじめとした 高校未就学者支援事業	<p>① <u>主な対象</u> 新宿区在住の高校未就学の外国人</p> <p>② <u>目的</u> 新宿区在住かつ進学希望の外国籍者、保護者が外国籍出身の高校中退者、フリーターに向けて高校就学、多文化共生の促進を目的とする。</p> <p>③ <u>活動内容</u> ・進路相談会（年9回） ・学習サポート（年9回）</p>
3	非営利活動法人 CWS Japan (シーダブリューエ スジャパン)	多文化共生型災害に強 い地域づくり	<p>① <u>主な対象</u> 大久保地区住民（特に外国人）</p> <p>② <u>目的</u> 多様な背景を持つ外国人が集住する新宿区において、外国人を含む地域住民が、防災を考え学ぶ機会・場づくりを通して、大規模災害時の自助共助に向け、地域住民・支援団体・行政機関の協力関係を醸成する。</p> <p>③ <u>活動内容</u> ・多文化共生×防災まち歩きバーチャルツアー（仮） （年2回 ※9月にイベント開催予定。うち1回は運営スタッフ会議） ・防災説明会・説明会（年12回）</p>

2 令和3年度一般事業助成・プレゼンテーション説明

- (1) 日時 令和3年6月28日(月) 14:30～
- (2) 場所 新宿区役所本庁舎6階 第2委員会室
- (3) プレゼンテーションの実施内容

開催方法	オンライン (Z o o m)
参加方法	① 区が用意する会場から区の用意するパソコンにてZ o o mに参加してください。団体のパソコンの持ち込みも可とします。自宅・事務所からの参加も可能です。その際背景はバーチャル背景で ぼかし を選択してください。
	② プレゼンテーションの参加人数は、 1団体3名以内 とします。
	③ 参加の際には表示名を 団体名 にしてください。
	④ 会場では職員がサポートのため同席します(パソコンの操作はご自身でお願いします)。
	<p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅等から参加の場合、機材トラブル等により、プレゼンテーションが中断あるいは実施できない時は、電話で質疑応答に参加するものとします(電話は最終手段とし、スマートフォンやタブレットなどで参加しなおしていただく等、事前に代替手段のご準備をお願いします)。 ・他の団体のプレゼンテーションを視聴することも可能ですが、その際はカメラをオフ、マイクをミュートに設定してください。
プレゼン方法	① 1団体の発表時間は 10分 とし、助成事業の内容を中心に説明してください。
	② 委員からの質問は 10分 とします。
	③ プレゼンテーションの方法は自由とします。
	④ 会場には、パソコン、プロジェクター機器等の設備は用意しますので、パワーポイント等を利用したプレゼンテーションも可能です。
	⑤ 残り時間は「 5分 」「 3分 」「 1分 」と3回画面越しに表示します。
	<p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場に団体のパソコンを持ち込む際は、フリーW i - F iがありませんので、通信料にご注意ください。 ・事前に決めた順番でプレゼンテーションを実施しますが、決められた順番に不在の団体は二次評価を棄権したものとみなし、助成対象団体から除外します。
公開方法 (※)	① プレゼンテーションは公開とします。
	② 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場には傍聴席を設けません。Z o o mの録画機能を使用して録画した映像を区のホームページ上に期間を設けて配信します(配信期間は一週間程度を予定しています)。

(4) 助成の決定

助成団体の交付申請結果通知書は7月1日（木）（予定）に送付しますので、助成決定団体は7月9日（金）までに助成金請求書を提出してください。

助成団体は助成対象事業終了後、2か月以内又は令和4年3月31日（木）のいずれか早い方（間に合わない場合はご相談ください）までに事業報告書を提出してください。事業報告書の提出がない場合、助成金の返還を請求することがあります。

(5) その他

- 評価資料には、申請時にご提出頂いた全ての書類を添付しています（団体活動資料等の参考資料部分は、事務局で内容を精査して適量を添付しています）。このため、評価委員からの質問内容は、これら全ての添付資料の内容が含まれます。
- 当プレゼンテーションは公開方法（※）のとおり、新宿区のホームページにて下記の期間配信いたします。

【配信日時】7月7日（水）午前9時から7月13日（火）午後5時まで

【URL】http://www.city.shinjuku.lg.jp/seikatsu/chiiki01_001012_00001.html